



平成18年深谷市議会第4回定例会は、12月1日から25日までの25日間の日程で開かれました。

条例の一部改正3件、条例の廃止1件、補正予算9件、専決処分の承認1件、そのほか7件の21議案が市長から提出され、また、第3回定例会において継続審査となっていた請願1件が審議されました。

これらの議案についての審査結果は、19ページの表のとおりですが、ここでは主な質疑の要点を報告します。

12月の定例会では、こんな質疑がありました

議案質疑

◆議案第181号 財産の無償貸付けについて

この議案は、市が誘致を進める大学の用地として、上柴町西四丁目2番11ほか2筆を、平成19年4月1日から30年間に、(仮称)東都医療大学設立準備委員会委員長、大坪修氏に無償で貸付けを行うものです。
 なお、貸付けの相手方については、学校法人の設立日をもって、(仮称)東都医療大学設立準備委員会委員長から当該学校法人に継承されます。

問 固定資産税相当額の負担を求める考えはないのか。
答 求める考えはありません。
問 契約書の第11条では、契約が解除になったときや貸付期間が満了したときには、本件土地を自己の負担により原状に回復し、市に返還しなければならぬと規定しているが、経営破綻した場合には、自己負担による原状回復は難しいのではないのか。
答 大学の設置は、文部科学省において、その運営する団体の経営内容など厳しい審査のもと行われますので、設立の段階で経営破綻はないと考えています。仮に、そのような事態が起こったとしても、原状に回復し返還していただくことが基本であります。しかし、市が認めるときは、現状のまま返還することができ、旨も規定していますので、

◆議案第185号 平成18年度深谷市一般会計補正予算(第4号)

この議案は、予算現額に歳入歳出それぞれ3137万2千円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ421億2098万9千円とするものです。

問 もくせい館施設整備管理事業における需用費の内訳を聞きたい。
答 合併後、利用者が大幅に増え、高熱水費が不足していることなどから、ボイラー用の灯油代79万円、水道代55万円、下水道代49万円、ガス代の修繕等に37万8千円を、それぞれ計上いたしました。
問 次世代育成支援対策施設整備事業の補正は、民間保育園2園の改築に対する補助金
答 だということだが、どこの保育園なのか。
答 東方のあけぼの保育園と針ヶ谷のふきのとう保育園の2園です。あけぼの保育園については、鉄骨2階建てを木造平屋建てに改築するもの

で、現在のものより約338㎡増えることとなります。また、ふきのとう保育園については、木造平屋建てを木造2階建てに改築するもので、約270㎡増となります。
問 B & G海洋センター整備管理事業は、アスベスト除去に係る経費ということだが、このほかに深谷市全体でどれくらい除去事業が残っているのか。
答 全体で32箇所ありましたが、平成17年度に10箇所処置し、平成18年度では、今回の補正を含め18箇所を予定しております。残りの4箇所については、平成19年度に対応していきたいと考えております。
問 残りの4箇所はどこか。
答 岡部の保健センター、宿根の市営住宅、緑ヶ丘の市営住宅、明戸小学校の4箇所です。



(仮称) 東都医療大学 校舎完成イメージ図

各常任委員会・議会運営委員会 正副委員長を互選

平成18年第3回定例会開会中及び閉会中に、各常任委員会、議会運営委員会の正副委員長に変更が生じたので、お知らせいたします。

(◎委員長 ○副委員長)
総務委員会
 ◎松本 光政 ○市川 誠一

市民環境産業委員会
 ◎富田 勝 ○宇多村春恵

福祉文教委員会
 ◎松本 政義 ○吉田幸太郎

建設委員会
 ◎下田 仁 ○新井 清

議会運営委員会
 ◎今井 俊雄 ○栗原 征雄

※第3回定例会において、中村和男氏が議会運営委員を辞任したこと、新たに栗原征雄氏が同委員に選任されています。

人事案件

■人権擁護委員候補者の推薦に同意
 佐久間愛子氏、瀧川善海氏の任期が満了となります。こ

請願の審査結果

請願第7号

「深丘園」建替え事業計画に葬儀式場建設を求める請願
 深谷市深谷町2-11
 埼玉北部葬祭業協同組合
 代表理事 齊藤 孝平
 (不採択)

のため、引き続き佐久間愛子氏を推薦することについて市長から意見を求められ、審議の結果、異議ない旨回答いたしました。なお、瀧川善海氏におかれましては、任期満了とともに退任されます。